

一般演題発表 2月26日(月)

第2会場 (3階・303)

2-1 ポスター①(回復期リハ/生活期リハ/摂食嚥下) 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長: 名古将太郎(千里リハビリテーション病院 STチーフ/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-1-1	東京都	世田谷記念病院	海老澤誠一	言語聴覚士	医療療養病床における摂食嚥下リハビリテーション患者の予後予測指標
2-1-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	今西剛史	医師	カーボカウントスライディングスケール、中鎖脂肪酸、糖質制限を用いた脳卒中糖尿病患者の血糖・栄養管理
2-1-3	兵庫県	本山リハビリテーション病院	小西由希子	言語聴覚士	とろみ溶液を用いたかき氷の作製 ～嚥下障害患者のQOL向上を目指して～
2-1-4	福岡県	白十字病院	林田裕一	言語聴覚士	急性期脳梗塞患者の顎関節脱臼に対して多職種でアプローチした1例
2-1-5	大阪府	わかさき竜間リハビリテーション病院	黒岩美樹	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟入院時の疾患別ADLと炎症、栄養状態との関係
2-1-6	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	村上準子	看護師	摂食障害患者の食事介助 ～患者の食べる力を引き出すスプーン操作を実践して～

2-2 ポスター②(リハ療法士/生活期リハ/設備・施設) 2月26日(月) 15:40 ~ 16:25

座長: 川口静(東京腎泌尿器センター大和病院 リハビリテーション科技士長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-2-1	東京都	大内病院	土屋吉正	看護師	市販消臭剤と剪茶殻の消臭効果による比較の検討
2-2-2	神奈川県	介護老人福祉施設ケアホーム三浦	高木健伍	柔道整復師	特養開所時からの集団リハビリの取り組みの報告と今後の展望
2-2-3	愛知県	名南ふれあい病院	山田美紀	理学療法士	看取り期を経て自宅退院可能となった一症例
2-2-4	熊本県	水前寺とうや病院	佐田祐介	理学療法士	福祉用具を活用して入浴業務にノーリフティングを導入した効果について
2-2-5	愛媛県	北条病院	増野雄一	理学療法士	排泄に対するアプローチ強化の取り組み

2-3 ポスター③(廃用症候群/リハ看護・介護/多職種/脳血管疾患) 2月26日(月) 16:35 ~ 17:20

座長: 柳本麻里(徳島平成病院 リハビリテーション科 係長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-3-1	岩手県	盛岡市立病院	滝村薫	理学療法士	廃用リハビリ対象者の退院時フレイル評価 —2種類のフレイル評価の一致度と理学療法評価との関係—
2-3-2	神奈川県	新戸塚病院	熊澤征哉	理学療法士	家族での移乗動作獲得に向けて ～重力に抗した座位へ～
2-3-3	香川県	橋本病院	田中彩貴	看護師	脳卒中後の抑うつ症状(PSD)とADLとの関連性について
2-3-4	石川県	みずほ病院	中森真由	理学療法士	当院入院患者におけるADL評価 —現状と今後の課題—
2-3-5	兵庫県	はくほう会セントラル病院	安岐俊介	作業療法士	当院における医療療養病棟での離床の取り組みについて

2-4 ポスター④(終末期リハ/がん/多職種/生活期リハ) 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長: 前田浩太郎(印西総合病院 リハビリテーション科 係長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-4-1	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	古久保侑実子	看護師	障害者病棟でのパーキンソンダンスの効果 ～看護師・作業療法士・音楽療法士とのハーモニー～
2-4-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	小池美咲	作業療法士	人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症患者に対して、退院計画表を用いて自宅退院支援を行った事例
2-4-3	岡山県	倉敷リバーサイド病院	安部真沙美	理学療法士	末期がん患者における家族も含めたりハビリテーションの効果 ～希望の実現がQOL向上に繋がった一症例～
2-4-4	高知県	くぼかわ病院	橋田健太郎	理学療法士	当院におけるがん患者リハビリテーションの現状と課題
2-4-5	神奈川県	新戸塚病院	矢島達郎	理学療法士	進行性核上性麻痺による易転倒性を呈し、訪問リハビリの運動指導により転倒なく外出自立に至った一症例

第3会場 (3階・304)

3-1 回復期リハ① 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長: 佐藤延(丸山病院 リハビリテーション部長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-1-1	兵庫県	平成病院	山本ひとみ	看護師	回復期リハビリテーション病棟における褥瘡発生予防への継続
3-1-2	徳島県	鳴門山上病院	小川聡	理学療法士	当回復期リハ病棟における排尿機能改善に向けた取り組み ～残尿量測定による時間誘導で排尿自立した1症例～
3-1-3	島根県	鹿島病院	石橋莉加子	作業療法士	眼球運動リハビリテーションとその効果 ～作業療法士ができること～
3-1-4	千葉県	富家千葉病院	横田侑	理学療法士	脳卒中患者に対し、体幹部への姿勢アプローチが後の歩行能力向上に功奏した症例
3-1-5	千葉県	印西総合病院	隈崎光哉	理学療法士	離床活動を病棟に定着させるための初期導入
3-1-6	香川県	橋本病院	新見綾香	理学療法士	退院後脳血管疾患患者における転倒予防自己効力感尺度と転倒回数、環境、歩行補助具との関連

3-2 回復期リハ② 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長: 山本寿枝子(富家病院 リハビリテーション室 室長代行/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-2-1	広島県	井野口病院	楠橋一弘	作業療法士	意味のある作業の支援により主体的な生活を取り戻した事例
3-2-2	東京都	世田谷記念病院	大久保雅人	理学療法士	回復期病棟入院患者における骨格筋指数と歩行速度の関係 ～歩行補助具による違い～
3-2-3	徳島県	博愛記念病院	高田幸治	理学療法士	回復期病棟でのリハビリ夜勤の業務形態変更に伴うFIM利得や平均在院日数への影響
3-2-4	三重県	花の丘病院	加藤綾	作業療法士	その人らしさを尊重した介入と家族指導の工夫により在宅復帰後役割の再獲得に至った症例
3-2-5	兵庫県	平成病院	中山幸彦	作業療法士	回復期リハビリテーション病棟における入院早期からの作業を基盤とした実践報告
3-2-6	青森県	青森慈恵会病院	鳴海一恵	准看護師	高齢患者への回復期病棟における多職種連携 ～意思尊重とその人らしさを考える～

3-3 回復期リハ③ 2月26日(月) 16:40～17:25

座長：湯澤司(富家病院 リハビリテーション室 副主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-3-1	兵庫県	東浦平成病院	宗和弘樹	理学療法士	離床率と集団活動率がFIM利得に及ぼす影響の検討
3-3-2	大阪府	泉佐野優人会病院	泉谷佑美	作業療法士	回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションに対する患者満足度調査の結果
3-3-3	広島県	島の病院おおたに	岡本真ノ助	理学療法士	当院回復期病棟における転倒・転落事例の現状把握と問題点抽出
3-3-4	群馬県	内田病院	篠崎有睦	理学療法士	認知症と診断された高齢者の自宅退院・FIMの改善に関する検討 -当院回復期リハ病棟データベースの分析-
3-3-5	東京都	世田谷記念病院	辻本まりえ	理学療法士	栄養付加食と歩行速度の関係性について

3-4 回復期リハ④ 2月26日(月) 17:26～18:11

座長：木村亜沙子(芳珠記念病院 リハビリテーション室/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-4-1	北海道	北樹会病院	鶴田若菜	理学療法士	当院回復期リハビリテーション病棟における再入院患者の傾向
3-4-2	愛知県	小林記念病院	竹内秀明	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟退院直後の転倒に関係する要因の検証
3-4-3	大阪府	わかさ竜間リハビリテーション病院	玉村悠介	理学療法士	脳卒中片麻痺患者の歩行獲得にむけた栄養管理の重要性
3-4-4	東京都	多摩川病院	徳嶋慎太郎	理学療法士	当院における回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価の特徴 80歳を基準に群を分けた検証
3-4-5	東京都	世田谷記念病院	新藤雅和	理学療法士	院内ホームワーク実施による効果検証:第3報 -Functional Independence Measure利得の天井効果に着目した検証-

第4会場 (3階・311+312)

4-1 チームアプローチ① 2月26日(月) 14:40～15:34

座長：中村正史(小林記念病院 一般病棟リハビリテーション科 科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-1-1	東京都	緑成会病院	橋本夏生	看護師	気切患者の在宅復帰に向けた多職種アプローチの検討
4-1-2	神奈川県	ヴィラ桜ヶ丘	高橋功	理学療法士	生活リハビリの現状と課題について
4-1-3	兵庫県	西宮回生病院	下川愛理	理学療法士	当院における転倒転落の要因と離床センサーの選定評価の検証
4-1-4	奈良県	奈良東病院	松野義之	言語聴覚士	脊髄性筋委縮症に対するチームアプローチ
4-1-5	大阪府	岸和田平成病院	釘宮智子	作業療法士	離床チーム結成によるレクリエーション参加者の変化
4-1-6	兵庫県	土井病院	酒勺麻衣子	理学療法士	患者の離床時間と職員の意識への取り組み ～療養病棟での有意義な離床を促すための活動～

4-2 チームアプローチ③/排泄・排尿 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：平田洋一(西宮回生病院 事務長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-2-1	山口県	山口平成病院	津江尚幸	理学療法士	高齢者の膀胱直腸リハビリテーションの有効性と疾患別における比較検証について
4-2-2	徳島県	博愛記念病院	吉野洸生	理学療法士	壮年期の腹圧性尿失禁と生活スタイルの関係性について
4-2-3	大阪府	阪和第一泉北病院	松井裕紀夫	理学療法士	やってみよう！ポジショニングで変わるケア ～オムツ交換に着目して～
4-2-4	鹿児島県	国分中央病院	今別府剛	理学療法士	多職種による協業で膀胱留置カテーテル抜去に至った一例
4-2-5	徳島県	徳島平成病院	栗尾昌志	介護福祉士	看護・介護の連携を目指した業務改善 ～排泄ケアの見直し～
4-2-6	愛媛県	HITO病院	西哲史	作業療法士	当院地域包括ケア病棟の集団リハビリがトイレ動作に及ぼす影響

4-3 終末期リハ①/医療安全管理 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：有馬陽一(新京浜病院 院長・インфекションコントロールドクター/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-3-1	北海道	定山溪病院	谷領	言語聴覚士	終末期における重度摂食・嚥下障害者へのSTの関わり
4-3-2	神奈川県	横浜病院	藤巻奈々恵	作業療法士	リビングウィルを希望した患者とその家族の受容と気持ちの変遷 ～終末期リハビリテーションの介入と視点～
4-3-3	東京都	多摩川病院	三浦亜純	作業療法士	ヒヤリハット報告書導入はヒヤリハット報告件数の増加と事故発生 予防につながるか
4-3-4	東京都	品川リハビリテーション病院	江原浩美	看護師	胃瘻造設患者のトラブルケア
4-3-5	徳島県	江藤病院	犬伏康德	理学療法士	当院における院内転倒について現状の把握と傾向の分析

4-4 脳血管疾患・脊髄損傷① 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：小菅康史(鶴巻温泉病院 診療部/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-4-1	群馬県	公立七日市病院	根岸尚美	作業療法士	余暇活動に対する目標設定に難渋した症例
4-4-2	香川県	橋本病院	寒川拓実	作業療法士	若年脳血管障害患者における職場復帰に関する因子の検討
4-4-3	東京都	緑成会病院	川島早紀	理学療法士	歩行自立後の脳卒中片麻痺患者に対する手段的歩行トレーニングの 効果について
4-4-4	大阪府	千里リハビリテーション病院	原田紗也佳	理学療法士	趣味活動再開に向け回復期リハビリテーションを展開した一症例
4-4-5	神奈川県	平成横浜病院	原文章	理学療法士	FACTと体幹回旋動作に着目した介入 ～脳梗塞片麻痺患者の歩行能力の改善に向けて～

第5会場(3階・313+314)

5-1 チームアプローチ② 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：的野美和子(光風園病院 リハビリテーション部 科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-1-1	福岡県	健和会 大手町リハビリテーション病院	大見昌吾	理学療法士	退院支援グループより新たな退院支援制度を導入して
5-1-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	光山智寛	介護福祉士	病室の不快に感じる臭気について ～職員を対象とした意識調査～
5-1-3	埼玉県	秩父生協病院	高荷進夫	言語聴覚士	“瞬き”によるコミュニケーション手段を確立し病棟生活範囲の拡大へ 繋げた家族病棟の取り組みと関わり後の変化
5-1-4	神奈川県	平成横浜病院	門家弘恵	看護師	回復期リハビリテーション病棟の多職種との連携 ～看護師によるアプローチの重要性～
5-1-5	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ都筑	秋原健利	作業療法士	特養における離床に向けたチームアプローチ
5-1-6	東京都	多摩川病院	大森昭彦	看護師	回復期病棟から、急性期、療養病院(精神科含む)へ転院した原因 について考察

5-2 社会復帰・自立支援 2月26日(月) 15:35 ~ 16:20

座長：宮本美恵子(橋本病院 副院長/看護師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-2-1	和歌山県	宇都宮病院	平沼永植	理学療法士	「活動」から「参加」へつなげるために
5-2-2	神奈川県	平成横浜病院	山内ななみ	作業療法士	音を用いた排便へのアプローチ ～副交感神経に着目して～
5-2-3	熊本県	谷田病院	松江公貴	理学療法士	介護主体デイサービスの自立支援に向けた取り組み
5-2-4	神奈川県	鶴巻温泉病院	高橋哲也	レクリエーション トレーナー	退院がゴールではない！ 脳梗塞発症から職場復帰を経て感じて いる事
5-2-5	神奈川県	鶴巻温泉病院	渡邊慶子	MSW	40代脳卒中患者の復職に向けたソーシャワークを振り返って

5-3 チームアプローチ④ 2月26日(月) 16:30 ~ 17:24

座長：野本達哉(永生病院 医療技術部長兼TQMセンター長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-3-1	大阪府	弥刀中央病院	飼鳥裕美	看護師	栄養状態改善に向けた取り組み
5-3-2	兵庫県	大原病院	西本美香	看護師	経口摂取の自立を目指したチームでの取り組み
5-3-3	静岡県	熱川温泉病院	奈須琴子	言語聴覚士	維持期の摂食嚥下障害患者の安全な経口摂取を目指して ～多職種との連携の重要性～
5-3-4	神奈川県	新戸塚病院	大田真央	言語聴覚士	誤嚥性肺炎により気管切開となった一症例 ～カニューレ抜去までの道のり～
5-3-5	埼玉県	霞ヶ関南病院	神保美穂	管理栄養士	患者さんと共に食事を楽しむ「コミュニケーションランチ」の取り組み
5-3-6	北海道	札幌西円山病院	櫻井貴之	言語聴覚士	東日本大震災被災地で行われている継続的な支援活動

5-4 脳血管疾患・脊髄損傷②/回復期リハ⑤ 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：久保田剛史(埼玉みさと総合リハビリテーション病院 リハビリテーション科技士長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-4-1	東京都	世田谷記念病院	蔵方祐	作業療法士	回復期脳血管障害患者における上衣更衣動作能力の獲得に関する因子
5-4-2	広島県	井野口病院	小田恵美香	作業療法士	外泊により情緒・行動面の改善を認めた脳挫傷症例
5-4-3	福井県	池端病院	大塚浩一	理学療法士	高次脳機能障害を合併した脳卒中症例の車椅子駆動に対する介入 ～誤りのない学習法の活用が奏功した一例～
5-4-4	大阪府	千里リハビリテーション病院	佐々木彩佳	理学療法士	歩行獲得に難渋した脳卒中患者に対し課題指向的に理学療法を展開した経験
5-4-5	宮城県	総合南東北病院	安孫子洋	理学療法士	末梢神経磁気刺激装置Pathleaderの脳卒中慢性期における、運動障害、サルコペニアに対する効果

第6会場(3階・315)

6-1 廃用症候群 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：矢野諭(多摩川病院 理事長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-1-1	宮城県	石巻健育会病院	遠藤巨樹	作業療法士	寝たきり状態から短期間で自宅退院まで至った一症例 —各種診療ガイドラインを活用して—
6-1-2	大阪府	泉佐野優人会病院	茶木知子	理学療法士	離床コーディネーターの取り組みと離床による効果の検証
6-1-3	兵庫県	平成病院	平岡拓也	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群患者の栄養障害に関する背景要因の検討
6-1-4	熊本県	西日本病院	桑原彰吾	理学療法士	腹部外科手術が腹横筋と骨盤底筋収縮能に及ぼす影響
6-1-5	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	丸山元大	理学療法士	手指拘縮による褥瘡予防への取り組み ～MP関節伸展角度に着目して～
6-1-6	石川県	芳珠記念病院	石田真希	作業療法士	副腎腫瘍術後長期入院患者の自宅退院へ向けて ～できたことの見える化による本人・妻の気持ちと活動の変化～

6-2 高次脳機能障害 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：上間清司(イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科技士長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-2-1	兵庫県	西宮回生病院	松村真麻	言語聴覚士	脳出血を呈した30歳代症例 —職場復帰までの支援について—
6-2-2	徳島県	博愛記念病院	福田遼太郎	理学療法士	注意力の低下がバランス機能や骨格筋量に与える影響及び転倒回数との相関について
6-2-3	東京都	平成扇病院	黒河内聡	理学療法士	右半側空間無視と視覚性運動失調を呈した1症例に対する症候学的な考察
6-2-4	香川県	橋本病院	西本ありさ	言語聴覚士	自宅への早期復帰を果たした重度失語、高次脳機能障害の一症例 —STの果たした役割の検討—
6-2-5	大阪府	わかさ竜間リハビリテーション病院	佐藤貴子	言語聴覚士	発症時、意識障害を認めた失語症患者の長期的経過
6-2-6	神奈川県	ふじの温泉病院	菅原光晴	作業療法士	複数物品の系列動作の障害を呈した前頭葉損傷例へのアプローチの有用性

6-3 小児疾患/神経・筋疾患 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：石橋哲弥(緑成会整育園 リハビリテーション部 係長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-3-1	兵庫県	西宮回生病院	今川瑞貴	作業療法士	地域に求められる小児リハビリテーション -立ち上げから現状の報告-
6-3-2	長野県	鹿教湯三才山リハビリテーション センター三才山病院	倉澤亜子	作業療法士	「手紙を送りたい」という筋萎縮性側索硬化症(ALS)の高齢女性に 対する作業療法の関わり
6-3-3	神奈川県	鶴巻温泉病院	及川明穂	作業療法士	トーキングエイドfor iPadを使用し長文で表出が可能となった保続を 認める進行性核上性麻痺患者に関する報告
6-3-4	鳥取県	養和病院	門脇達也	作業療法士	鳥取県西部における特別支援学校センター的事業の取り組みに ついて
6-3-5	北海道	札幌西円山病院	石川朝子	作業療法士	パーキンソン病患者の認知症重症度とADL自立度の関係性

6-4 療法②(音楽・園芸・アニマル他)/鍼灸 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：石田真希(芳珠記念病院 副主任/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-4-1	東京都	介護老人福祉施設ヴィラ町田	木下裕基	作業療法士	外食レクの取り組み ~施設入居者様の食べたいものとは~
6-4-2	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ南本宿	長田知子	理学療法士	新たなコミュニケーションツールによる行動変化・心理変化を検証 する
6-4-3	京都府	洛和会ヘルスケアシステム	柴田恵美	音楽療法士	長期入院による不定愁訴が続くA氏への音楽療法の介入
6-4-4	奈良県	奈良東病院	尾上昭代	作業療法士	長期入院生活における楽しみの獲得 ~ポッチャの参加を通して~
6-4-5	兵庫県	東浦平成病院	吉村翔太	鍼灸師	てい鍼による身体後面抗重力筋群への影響

第7会場(4階・411+412)

7-1 摂食嚥下・栄養・口腔ケア① 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：櫻井貴之(札幌西円山病院 リハビリテーション部言語療法科 科長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-1-1	大阪府	岸和田平成病院	土肥丈一郎	言語聴覚士	超音波を使用した嚥下機能評価
7-1-2	大阪府	堺温心会病院	姫田祐樹	言語聴覚士	酸味の濃度が舌骨上筋群活動開始に与える影響
7-1-3	神奈川県	鶴巻温泉病院	監物千春	管理栄養士	回復期リハビリテーション病棟におけるBCAAの有効性について
7-1-4	大阪府	平成記念病院	阪上健太郎	看護師	気管切開・胃瘻造設患者に対する唾液持続吸引を導入して
7-1-5	福岡県	広川病院	服部綾子	作業療法士	運動負荷量を栄養状態にあわせリハビリを実施し改善に至った 一症例について
7-1-6	神奈川県	鶴巻温泉病院	加藤久美子	看護師	回復期リハビリテーション病棟における摂食嚥下チームの回診 対象者の特徴と今後の課題

7-2 摂食嚥下・栄養・口腔ケア② 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：阪口英夫(陵北病院 歯科診療部長/歯科医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-2-1	富山県	流杉病院	中川瑞人	言語聴覚士	不顕性誤嚥の回避に咳テストを活用し、経口摂取を獲得できた一症例
7-2-2	徳島県	江藤病院	斎藤由衣	理学療法士	高齢者の座位保持時間と食事が咳嗽力に与える影響の検討
7-2-3	徳島県	徳島平成病院	濱弥生	言語聴覚士	OHAT日本語版を用いた口腔環境改善の取り組み
7-2-4	徳島県	博愛記念病院	伊澤高輝	言語聴覚士	嚥下体操における口腔内湿潤効果
7-2-5	神奈川県	鶴巻温泉病院	田中葵	言語聴覚士	訪問言語聴覚療法を実施し、摂食可能な食形態が向上した重度摂食嚥下障害を呈した脳卒中患者
7-2-6	石川県	芳珠記念病院	西出直人	歯科医師	当院NSTが介入した摂食・嚥下障害症例における、栄養状態、ADLに関する検討

7-3 療法①(音楽、園芸、アニマル他)/設備・施設① 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：大久保秀行(横浜病院 医療技術部 部長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-3-1	北海道	聖ヶ丘病院	佐々昂典	作業療法士	慢性期病院における集団調理訓練がもたらす効果
7-3-2	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ横浜	高野光星	理学療法士	園芸療法を通して ～活気向上の得られたケース～
7-3-3	東京都	大久野病院	林文月	看護師	チームアプローチによるリハビリ意欲の向上離床効果がみられた症例 ～セラピードッグとのふれあいを通じて～
7-3-4	京都府	洛和会ヘルスケアシステム	矢野ひとみ	音楽療法士	回復期リハビリテーション病棟における他職種と連携した音楽療法の一例
7-3-5	愛知県	福祉村病院	村上佳範	作業療法士	認知症リハビリプロジェクト 農作の取り組み

7-4 呼吸器・循環器疾患・がん/終末期リハ② 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：浦信行(札幌西円山病院 院長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-4-1	富山県	光ヶ丘病院	山口拓也	理学療法士	COPD患者への鼻カニューレと酸素マスク(空マスク)併用が労作時のSpO ₂ に効果を及ぼした一症例
7-4-2	北海道	札幌ひばりが丘病院	猪狩祥吾	理学療法士	地域包括ケア病棟に入院したがん患者の傾向と考察 ～リハビリテーションの視点から～
7-4-3	山口県	光風園病院	杉山寛行	理学療法士	当院の呼吸器疾患患者に対するリハビリテーションの現状と課題
7-4-4	静岡県	東名裾野病院	三枝洋美	作業療法士	離床目的のウィニングにより活動意欲が向上したことで、認知機能とADLの向上に繋がった1例
7-4-5	東京都	緑成会病院	齋藤翔	理学療法士	地域包括ケア病床にて在宅復帰が困難だった一症例